

令和 6 年 3 月 22 日

在京花巻人会の令和 5 年度の事業報告

1、会員相互の親睦・交流活動の推進

1) 会報「在京花巻人」の発行

令和 5 年度も、何とか年 3 回発行することが出来ました。部数は、6 月号が 800 部、10 月号と 1 月号は各 500 部を配布しました。令和 3 年 10 月号から始まった「賢治さんの思い出シリーズ」は終了しましたが、武井美砂氏や蟹澤政志氏などから興味深い寄稿があり、「はなまきあれこれ」の地元情報も充実、読み応えのある会報となったと思います。年間 8 頁建てを堅持しました。

2) 「在京花巻人のつどい」の実施

7 月 8 日（土）、令和 5 年度「第 37 回在京花巻人のつどい」を、コロナの第 5 種への移行があり、3 年振りに通常通り実施することが出来ました。久しぶりに参加者が申し込み時点で 130 名を超え、花巻からも上田市長様はじめ多数の来賓にご参加を頂き、盛況のうちに終えることができました。

3) 「べんべろの会」との提携活動

谷口秀子さんはご逝去されましたが、賢治作品の朗読を続けている「べんべろの会」を支援するべく活動を始めました。8 月には理事を中心に朗読を体験しながらべんべろ会員との交流会を開催、さらに 11 月に開催されたべんべろ朗読会には、会員約 15 名参加し会を盛り上げました。

4) ホームページの立ち上げと連絡事務所のメールアドレスの取得

昨年度は、ホームページを立ち上げ、事務所のメールアドレスを取得するなど、在京花巻人会にとって、デジタル化元年となりました。これによって、会員同士の交流の機会が増すのみならず、一般の花巻ファンへの情報発信と交流が可能となりました。

5) 岩手県連「献血奉仕活動」への協力

岩手県人連合会の恒例の献血奉仕活動が 11/5（日）に池袋東口で行われ、在京花巻人会の理事を中心に 4 名が参加し献血活動に協力しました。

2、花巻市への支援・協力活動の推進

1) 花巻市観光物産展への動員と応援

令和 5 年度は 6 月の「ふるさと交流ショップ台東」への動員と応援に始まり、10 月のアリオ川口での「岩手県花巻市フェア」では、わんこそば大会のお手伝い。8 月の「キラキラはなまき銀河鉄道ナイト」には、理事数人が応援に駆け付け、11 月の「都庁」、1 月の「銀河プラザ」観光物産展にも動員をかけ応援しました。また、2 月の平塚市民プラザの「花巻の物産と観光展」にも、多くの会員が駆け付け買い物と応援に努めました。

2) 花巻物産のカタログによる通販企画の検討

カタログによる在京花巻人会会員向けの花巻物産の通販企画については、観光協会に提案していますが、令和 5 年度には進展がありませんでした。来年度の課題として協議を続けたと思います。

3) 地元花巻の動向や情報の発信

令和5年度も、会報の「はなまきあれこれ」のコーナーで花巻の情報の発信に努めましたが、ホームページの立ち上げで情報発信のレベルは格段に向上しました。会報の「はなまきあれこれ」は好評ですが、ホームページは会員のみならず一般人にも利用され、広く花巻への関心と理解を高めることが出来ました。

3、「在京花巻ふるさと会」としての活動と事務所等の運営に関わる作業

1) 令和5年度は2月の「丹内獅子躍の新井薬師梅照院節分会演舞奉納の応援」は中止となりましたが、在京石鳥谷町人会が3月17日に日本橋から出発する「お花見クルーズ」を実施、在京花巻人会からも6名参加しました。

2) 在京花巻人会が連絡事務所の運営と関連事務作業を令和5年度も担当。一昨年11月に飯田橋の事務所の賃借が終了、令和6年度は東日本橋の新事務所の備品や調度の調達に努め、事務所の体制が整いました。

4、理事会の体制づくりと会員募集活動の開始

1) 3名の理事の退任と6名の理事の加入があり、理事会の体制づくり、チームワークの醸成に努めました。「名簿班」以下5班に各理事が属し、組織的な活動が始めることが出来ました。

2) 新会員募集のための「入会キット」について、その内容の検討を続けてきましたが、案がまとまり製作に入りました。今後は配布方法など、どう活用するかに知恵を絞りたいと思います。

5、会費の納入について

令和4年度も以下の通りお願いしました。

- ・年会費 1世帯 2,890円
- ・納入期限 3月末日